

準偏差 10.4 歳)、インターネット調査は 41.0 歳 (同 11.4 歳) であり、後者の調査での平均年齢が高かった。

回答者の年齢分布(女性)

	医療機関調査		インターネット調査	
	2,815	100.0	3,698	100.0
10歳台	138	4.9	152	4.1
20歳台	1,051	37.2	413	11.2
30歳台	891	31.6	1,130	30.6
40歳台	500	17.7	1,217	32.9
50歳台	189	6.7	506	13.7
60歳台	46	1.6	280	7.6
年齢不詳	9	0.3	-	-

(医療機関調査: 33.3歳±10.4歳、インターネット調査41.0歳±11.4歳)

(1) 性感染症の検査を受けることに対する気持ち

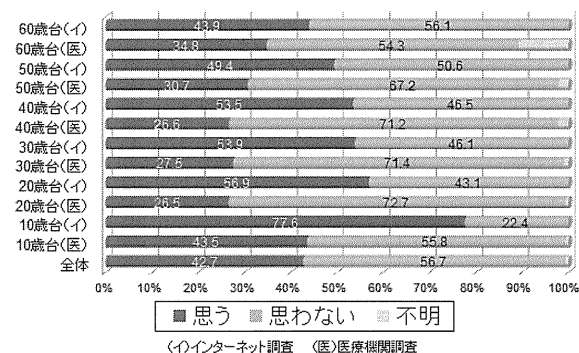
「検査結果を知ることが怖い」「性行動が活発な人だと思われてしまう」「パートナー(恋人・配偶者など)に知られたくない」「パートナー以外の家族(親など)に知られたくない」「検査費用が心配」「どこで受けてよいかわからない」「面倒くさい」「検査機関や医療機関へ出向くことができない」「今までに受診したことがない診療科(婦人科・泌尿器科)に行くことが怖い」「どのような検査をされるのか不安」「異性の医師・スタッフに診られることに抵抗がある」「うしろめたい」「恥ずかしい」「自己の健康管理のために定期的を受けたい」「パートナーのために検査を受けたい」の15項目について、「思う(とても思う+やや思う)」、「思わない(あまり思わない+まったく思わない)」の2群に分けて両調査の結果を比較した。

いずれも、初診、再診にかかわらず医療との関わりを持っている女性と、一般女性との間には、年代を超えて大きな違いのあることが明らかとなった。

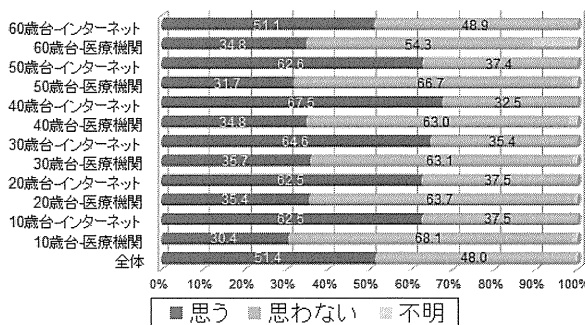
両調査で顕著な違いを認めたのは、性感染症の検査を「どこで受けてよいかわからない」、「面倒くさい」、「検査機関や医療機関へ出向くことができない」などであった。これを都道府県別に比較しても同様な傾向であった。

性感染症の拡大を防止するためには、早期発見・早期治療が不可欠であるが、どこに行ったら検査を受けられるのか、どのようなことが行われるのか、どの程度の費用がかかるのか、どれくらいの時間がかかるのかなど、一般の人が抱く疑問に対して明快に回答するだけでなく、様々な手段を通して広報啓発していく必要が

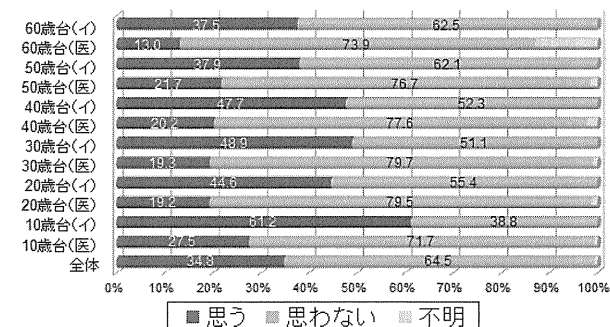
あるのではないだろうか



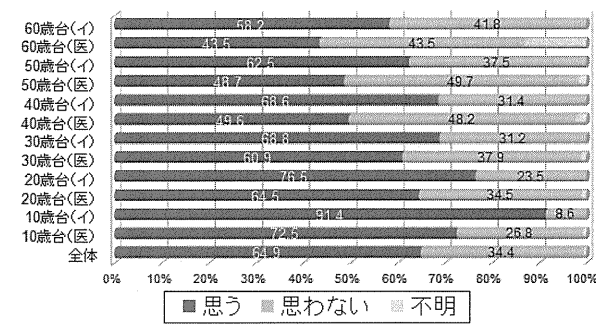
性感染症の検査: どこで受けてよいかわからない



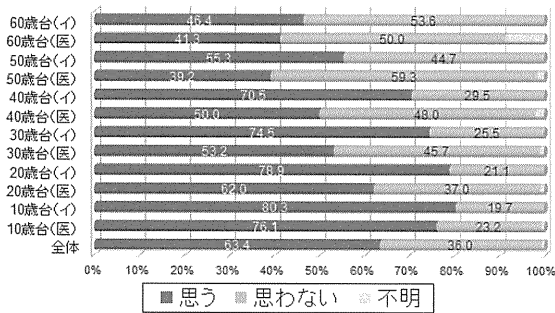
性感染症の検査: 面倒くさい



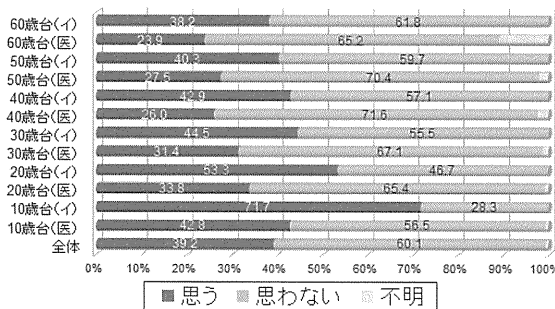
性感染症の検査: 検査機関や医療機関へ出向くことができない



性感染症の検査: どのような検査をされるか不安



性感染症の検査：検査費用が心配



性感染症の検査：今までに受診したことがない診療科(婦人科・泌尿器科)に行くことが怖い

E. 結論

本研究班では、一般人口集団を代表するものとしてインターネット調査を、性感染症の検査や治療について情報を得やすい集団として医療機関調査を実施した。

これらの調査を通して、わが国一般人口集団における性意識・性行動の実態を把握できた意義は大きい。特に、異性間性交にとどまらず、同性間性交や口腔性交の年代別経験率、「金をはらって、金をもらって」の性交経験率などを明らかにできた。また、性交経験のある者の性感染症予防法としてはコンドームの使用が不可欠であるが、口腔性交が極めて一般化している割にはコンドームの使用がほとんど行われていないことは憂慮すべき事態である。「エイズ予防にはコンドームを」のメッセージと合わせて、「口腔性交にもコンドームを」の教育を徹底する必要がある。学校で性感染症予防を学んだ若者はコンドーム使用に対して熱心になれることなど、学校性教育が如何に重要であるかを知ることができた。

これらの興味深い結果を踏まえて、性感染症の早期発見・早期治療に結び付けるだけでなく、性感染症予防策として有効だと思われる取り組みを以下箇条書きにした。

1. 学校における性教育ならびに性感染症予防教育の充実を

学校教育において、性交の意味、初交に向けた準備、口腔性交の課題、コンドーム使用の意義、性感染症の特徴などを科学的・具体的に学ぶ機会を作る。これによって、初交を「重大なこと」と認識させ、性感染症予防としてのコンドームの使用を徹底させることができるようになる。性感染症の検査を受けようと思った一番のきっかけは「気になる症状がある」であった。しかし、多くの性感染症はHIVやクラミジア感染症などがそうであるように無症候であることが一般的である。性交経験があるならば定期的な検査を、パートナーがかわったときには検査を必須とする教育が求められている。これらは、学校に限らず社会教育の中でも取り上げて欲しい話題である。

2. 医療機関における性感染症予防教育の徹底を

性感染症の早期発見・早期治療はいずれにせよ検査が可能な医療機関での受診が不可欠である。一般人口集団では「どこに行って検査をしたいかわからない」と回答する者が少なくなかった。また「今まで受診したことのない診療科(婦人科・泌尿器科)に行くことが怖い」「どのような検査をされるのか不安」「異性の医師・スタッフに診られることに抵抗がある」など、医療機関が受診しやすい環境を整備することが重要であることを示唆する結果となっている。医療機関におけるホームページを充実させて、受診しやすい情報提供、スタッフ紹介、性感染症検査・治療の具体的な方法、検査や治療経費などわかりやすい情報の提供が求められている。また、電話をかけてきたときの対応方法、受診した際にスタッフのフレンドリーな応対などを心掛け、不安や心配を払拭できるような体制を整えておくことが重要である。さらに、性感染症罹患者のパートナーに対する検診・治療を積極的に促すよう心掛けていただきたい。

3. メディアからは科学的・具体的な情報提供を

無症候の性感染症が大半であること、性感染症の検査・治療は医療機関で行うこと、口腔性

交に際しての留意点、特にコンドームを使用することが性感染症の拡大を阻止するために重要であること、性感染症に罹患した場合には、当事者だけでなくパートナーの検診・治療が推奨されることなどを折に触れて情報提供して行って欲しい。

F. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 平成 24 年度開催予定の日本思春期学会、日本母性衛生学会、日本性感染症学会、平成 25 年度日本産科婦人科学会などでの発表を予定している。

G. 知的所有権の取得状況

なし

日本人の性意識・性行動に関する調査

○この調査票に回答された内容については、統計として取りまとめるだけで、皆様の個人的な内容が明らかにされることはいっさいありません。お答えになりにくい質問もあるかと思いますが、純粋に医学的見地からの質問となっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○どうしても、答えにくい質問があれば、その部分は無回答でも結構です。次の質問に進んでください。

— [ご記入に際してのお願い] —

- 1) この調査は、調査をお願いしたご本人様にご回答をお願いいたします。
- 2) お答えは、あてはまる番号を○印で囲んでいただくか、数字をご記入ください。
- 3) お答えは原則的に1つの質問につき1つ選んでいただきます。ただし質問によっては、2つ以上の回答を選んでもいただく場合もあります。質問文末に（○は2つまで）など、選んでいただく回答の数が示してありますので、これに従ってください。
- 4) ご記入は、質問の番号や矢印（→）の指示にそってお願いします。一部の方だけにお答えいただく質問もありますので、その場合は、【 】内の指示に従ってお答えください。
- 5) ご記入は鉛筆または黒・青のペン、ボールペンでお願いします。なお、記入上おわかりにならない点などがありましたら、調査をお願いした受付担当者にお問い合わせください。

ご記入後、回収用封筒に密封して、受付までお渡しいただきますよう、お願い申し上げます。
お礼として、500円のQuo（クオ）カードをお渡しいたします。

平成23年11月

平成23年度厚生労働科学研究費補助金・新型インフルエンザ等新興・再興感染症事業
「性感染症に関する予防、治療の体系化に関する研究」

（主任研究者 小野寺 昭一 慈恵医科大学客員教授）

分担研究者 （社）日本家族計画協会 家族計画研究センター所長 北村 邦夫

医療機関番号	
--------	--

まず、この調査を統計的に処理するために、あなたご自身のことについていくつかお聞きします。

F1 あなたの性別（○は1つ）

1 男性	2 女性
------	------

F2 あなたの年齢は、満でおいくつですか。

<input type="text"/>	歳
----------------------	---

F3 この病院（クリニック等も含む）は、今回初めての受診ですか。（○は1つ）

1 はい	2 いいえ
------	-------

F4 現在、あなたは誰と一緒に住まいますか。この中から、あてはまる人をすべてあげてください。
(○はいくつでも)

1 一人暮らし（一緒に住んでいる人はいない）	7 兄弟姉妹
2 配偶者（妻、夫、パートナー）	8 親戚
3 親（配偶者の親も含む）	9 恋人
4 子（子の配偶者も含む）	10 ルームメイト・友達
5 祖父母（配偶者の祖父母も含む）	11 それ以外の人
6 孫	

F5 現在、あなたは結婚していらっしゃいますか。（○は1つだけ）

1 未婚	4 離婚
2 初婚	5 死別
3 再婚	

F6 あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。中退・在学中は卒業としてお答えください。
(○は1つだけ)

1 中学校	3 専門学校	5 大学
2 高等学校	4 短期大学	6 大学院

F7 あなたの主な職業は、どれにあてはまりますか。（○は1つ）

1 勤め人（常勤）	4 学生
2 勤め人（非常勤・パートタイム・アルバイトなど）	5 主婦（主夫）
3 自営業（事業の経営者・家業の手伝い・内職など）	6 無職

F8 あなたは、自分のことが好きですか。（○は1つ）

1 好き	2 まあ好き	3 あまり好きではない	4 好きではない
------	--------	-------------	----------

【F9～F10の質問は20歳以上の方にお聞きします。20歳未満の方は問1へお進みください。】

F9 あなたは現在、タバコを習慣的に吸っていますか。(○は1つ)

(習慣的に吸っている人とは、「今までに合計100本以上または6ヶ月以上吸っている人」のうち「最近1ヶ月も吸っている人」です。)

1 もともと吸わない(吸ったことがない)	} → F10へ
2 吸ったことはある(吸っている)が習慣的ではない	
3 過去に習慣的に吸っていた(現在は吸っていない)	
4 習慣的に吸っている	

【F9で「4 習慣的に吸っている」と答えた方にお聞きします。】

F9SQ 1日の平均本数と喫煙年数を教えてください。

1日の平均本数	<input type="text"/>	本	喫煙年数	<input type="text"/>	年
---------	----------------------	---	------	----------------------	---

F10 あなたは1週間の内、平均してどの程度お酒を飲みますか。(換算表を使ってお答えください)

(○は1つ)

1 飲まない	日本酒一合(180ml)換算表 ビール 中瓶1本 約500ml 焼酎 35度1杯 80ml ウィスキーダブル1杯 60ml ワイン 2杯 240ml 例: 1週間に350mlのビールを3本(1050mlで2合)と焼酎2杯(160mlで2合)飲めば、合計4合になります。
2 1合未満	
3 1～2合未満	
4 2～3合未満	
5 3合以上	

(全員の方に) ここからは、あなたの性の意識やご自身の性行動についてお伺いします。

問1 現在、あなたはセックス(性交渉)をすることに、関心がありますか。(○は1つ)

1 とても関心がある	4 まったく関心がない
2 ある程度関心がある	5 嫌悪している
3 あまり関心がない	

※ここからはあなたご自身の性行動についてお聞きしますが、以降の質問文中の『セックス(性交渉)』には、「口腔性交(男性の性器あるいは女性の性器を口で刺激すること)」も含んでお答えください。

問2 あなたは、これまでに異性とセックス(性交渉)をしたことがありますか。(○は1つ)

1 ある	2 ない	→ 4ページの問7へお進みください
------	------	-------------------

【問3～問6は、問2で「1 ある」と答えた方にお聞きします。】

問3 あなたは今までに、何人の異性とセックス(性交渉)をしましたか。(○は1つ)

1 1人	4 4人	7 20～49人
2 2人	5 5～9人	8 50～99人
3 3人	6 10～19人	9 100人以上

問4 現在、あなたには決まった交際相手（配偶者含む）以外に、セックス（性交渉）する関係のある異性がいますか。（○は1つ）

1 1人	3 3人	5 5～9人	7 そのような人はいない
2 2人	4 4人	6 10人以上	

問5 あなたの、この1ヶ月間の、異性とのセックス（性交渉）の回数はどれくらいですか。（○は1つ）

1 1回	4 4回	7 20～49回
2 2回	5 5～9回	8 50回以上
3 3回	6 10～19回	9 この1ヶ月間は、セックス（性交渉）をしなかった

問6 現在、もっともよく使っている避妊法は以下のうちどれですか。（○は1つ）

1 コンドーム	5 膈外射精法（精液を外に出すこと）
2 経口避妊薬（ピル：飲む避妊薬）	6 洗浄法
3 オギノ式避妊法（月経からの日数計測）	7 この中にはない
4 基礎体温法（基礎体温をはかる）	8 避妊する必要がない

【全員にお聞きします】

問7 あなたは、これまでに同性とセックス（性交渉）をしたことがありますか。（○は1つ）

1 ある	2 ない	→ 5ページの間10へお進みください
------	------	--------------------

【問8～問9は、問7で「1 ある」と答えた方にお聞きします。】

問8 あなたは今までに、何人の同性とセックス（性交渉）をしましたか。（○は1つ）

1 1人	4 4人	7 20～49人
2 2人	5 5～9人	8 50～99人
3 3人	6 10～19人	9 100人以上

問9 同性と初めてのセックス（性交渉）をするきっかけは、どのようなことでしたか。もっともあてはまるものを選んでください。（○は1つ）

1 愛していたから	6 お金が欲しくて
2 遊びや好奇心から	7 ただなんとなく
3 酒を飲んだ勢いで	8 さびしくて
4 相手をつなぎ止めておきたくて	9 この中にはない
5 無理やり迫られて	

【問 10～問 23 は、セックス（性交渉）経験がある方にお聞きします。経験がない人は8ページの問 24 へお進みください。】

※以降の質問の『セックス（性交渉）』は、相手が異性・同性を問わずお答えください。

問 10 この1年間で、あなたは口腔性交（男性の性器あるいは女性の性器を口で刺激すること）の経験がありますか。（○は1つ）

1 毎回している	4 していない → 問 11 へ
2 時々している	
3 ほとんどしていない	

【問 10SQ は、問 10 で「1～3」と答えた方にお聞きします。】

問 10SQ 口腔性交の際、感染を予防するために、たとえばコンドームを使うなどしますか。（○は1つ）

1 必ず使う	2 使うときと使わないときがある	3 まったく使わない
--------	------------------	------------

問 11 あなたは、恋人あるいは配偶者（妻あるいは夫）以外に、「お金をはらって」あるいは「お金をもらって」セックスしたことがありますか。（○は1つ）

1 ある	2 ない	3 わからない
------	------	---------

あなたの初めてのセックス（性交渉）について、お聞きします。

問 12 あなたが、最初にセックス（性交渉）をしたのは何歳の時ですか。

<input type="text"/>	歳の時
----------------------	-----

問 13 あなたは、最初のセックス（性交渉）をする前に、「初めてのセックス（初体験）」というものを、どのように考えていましたか。（○は1つ）

1 かなり重大なことだと感じていた	3 やや軽く考えていた
2 やや重大なことだと感じていた	4 かなり軽く考えていた

問 14 初めてセックス（性交渉）をした相手（配偶者を含む）とはどのようにして知り合いましたか。（○は1つ）

1 もともと幼なじみであり、その人に好意を持つようになった
2 友人や先輩から紹介されて知り合った
3 塾、ゼミ、クラブ、サークル、ボランティア活動などで知り合った
4 職場やアルバイト先で、知り合った
5 携帯電話やパソコンメールを通して、知り合った
6 町で声をかけられたりして知り合った
7 お見合いによって知り合った
8 この中にはない

問 15 初めてのセックス（性交渉）をするきっかけは、どのようなことでしたか。もっともあてはまるものを選んでください。（○は1つ）

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 愛していたから | 6 友人に遅れたくなくて |
| 2 遊びや好奇心から | 7 お金が欲しくて |
| 3 酒を飲んだ勢いで | 8 ただなんとなく |
| 4 相手をつなぎ止めておきたくて | 9 さびしくて |
| 5 無理やり迫られて | 10 この中にはない |

問 16 初めてセックス（性交渉）した相手と、出会ってからセックス（性交渉）するまで、どのくらいの間、交際していましたか。（○は1つ）

- | | |
|---------------|---------|
| 1 1日（出会ったその日） | 5 6か月未満 |
| 2 1週間未満 | 6 1年未満 |
| 3 1か月未満 | 7 3年未満 |
| 4 3か月未満 | 8 3年以上 |

コンドームの使用について、お聞きします。

問 17 初めてのセックス（性交渉）のときコンドームを使用しましたか。（○は1つ）

- | | | |
|-------|----------|----------|
| 1 使った | 2 使わなかった | 3 覚えていない |
|-------|----------|----------|

問 18 コンドームを使うことについてどう思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

（○はいくつでも）

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1 かっこ悪い | 6 かっこいい |
| 2 面倒くさい | 7 安心できる |
| 3 雰囲気が壊れる | 8 相手からの愛情（相手への責任）を感じる |
| 4 相手が嫌がるので使っていない | 9 マナーである |
| 5 気持ちよくない | 10 あてはまるものはない |

問 19 あなたは、この1年では、決まった交際相手（配偶者や同性の相手を含む）とのセックス（性交渉）において、コンドームを毎回使っていますか。（○は1つ）

- | |
|---------------------------------|
| 1 必ず使っている |
| 2 使うときと使わないときがある |
| 3 使っていないが、使うことを考えている |
| 4 使っていないし、使うことも考えていない |
| 5 妊娠を望んでいるので、使っていない |
| 6 配偶者あるいは決まった交際相手はいない |
| 7 1年以内に決まった交際相手とセックス（性交渉）をしていない |

問 20 あなたは、この1年では、決まった交際相手（配偶者や同性の相手を含む）以外とのセックス（性交渉）において、コンドームを毎回使っていますか。（○は1つ）

- | |
|--|
| 1 必ず使っている |
| 2 使うときと使わないときがある |
| 3 使っていないが、使うことを考えている |
| 4 使っていないし、使うことも考えていない |
| 5 決まった交際相手（配偶者や同性の相手を含む）以外とのセックス（性交渉）はない |

【問 21 は、問 19 または問 20 のいずれかで「1 必ず使っている」、または、「2 使うときと使わないときがある」と答えた、現在コンドームを使っている方にお聞きします。現在使っていない方は、問 22 へお進みください。】

問 21 コンドームを使っている理由は何ですか。いくつでも選んでお答えください。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1 性感染症予防のため | 6 どこでも手に入りやすいから |
| 2 確実な避妊方法だと思うから | 7 安心できるから |
| 3 相手が使っているから | 8 よく使われているから |
| 4 コンドーム以外の避妊方法を知らないから | 9 なんとなく |
| 5 値段が安いから | 10 この中にはない |

【問 22 は、問 19 または問 20 のいずれかで「2 使うときと使わないときがある」または「3 使っていないが、使うことを考えている」または「4 使っていないし、使うことも考えていない」を答えた、コンドームを使わないことがある方にお聞きします。それ以外の方は、問 23 へお進みください。】

問 22 あなたは、性感染症に対して、どのように感じていますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1 自分とは関係ない | 3 身近に感じており、危機感がある |
| 2 自分には関係がないとは思わないが、危機感はない | 4 この中にはない |

問 23 かつて「コンドームが破けた」あるいは「はずれて精液が漏れてしまった」経験がありますか。（○は1つ）

- | | | | |
|------|------|----------|---------------------|
| 1 ある | 2 ない | 3 覚えていない | 4 コンドームを1度も使ったことはない |
|------|------|----------|---------------------|



→ (8 ページの問 24 へ)

【問 23SQ は、問 23 で「1 ある」と答えた方にお聞きします。】

問 23SQ その時、どのように対処しましたか。もっとも最近の経験で、あてはまるものを選んでください。（○は1つ）

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 気にしなかった | 4 その他（具体的に） |
| 2 生理が来るのを待った | 5 覚えていない |
| 3 緊急避妊を行った | |

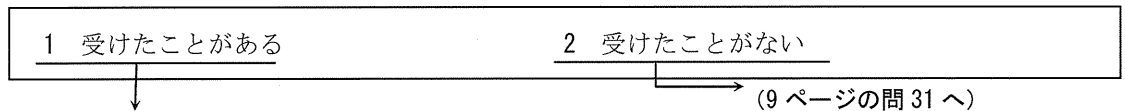
(全員の方に) 性感染症についてお聞きします。

問 24 あなたが聞いたことのある性感染症を、次の中からいくつでも選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--|
| 1 エイズ (HIV) | 7 尖圭 ^{せんけい} コンジローマ |
| 2 クラミジア | 8 トリコモナス |
| 3 梅毒 ^{びいどく} | 9 B型肝炎 ^{かんえん} |
| 4 淋病 ^{りんびょう} | 10 その他 (具体的に) |
| 5 ケジラミ | 11 性感染症について聞いたことはない→ (10 ページ
の間 32 へ) |
| 6 ヘルペス | |

【問 24 で「1～10」と答えた、性感染症について聞いたことがある方にお聞きします。】

問 25 あなたは以前、1～10 に挙げたような性感染症に感染しているかどうかを知る目的で検査を受けたことがありますか。(○は1つ)



【問 26～問 30 は、問 25 で「1 受けたことがある」と答えた方にお聞きします。】

問 26-1 あなたが性感染症の検査を受けようと思ったきっかけは何ですか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでお答えください。なお、複数回受けている場合は、最後に検査を受けた時の状況でお答えください。(○はいくつでも)

問 26-2 では、検査を受けようと思った一番のきっかけは何ですか。選択肢の数字をご記入ください。

<ol style="list-style-type: none">1 パートナー (性交渉の相手) が性感染症にかかっていたから2 気になる症状 (自覚症状) があったから3 医師から勧められて4 友人や家族から勧められて5 パートナー (性交渉の相手) が変わったから6 学校での性教育で学んだから7 テレビや新聞などで取り上げられた番組や記事を見て8 何に影響されたわけではなく、自分の意志で9 その他 (具体的に)	一番のきっかけ □ 番
--	----------------

問 27 どこで検査を受けましたか。複数回あるときはすべてをお答えください。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 医療機関2 保健所などの公的機関3 在宅 (郵送インターネット検査)4 その他 (具体的に) |
|--|

問 28 検査の結果、(覚えている範囲で) 診断された性感染症を、次の中からいくつでも選んでください。
(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--|
| 1 エイズ (HIV) | 7 尖圭 ^{せんけい} コンジローマ |
| 2 クラミジア | 8 トリコモナス |
| 3 梅毒 ^{ばいどく} | 9 B型肝炎 ^{かんえん} |
| 4 淋病 ^{りんびょう} | 10 その他 (具体的に) |
| 5 ケジラミ | 11 性感染症にかかっていなかった→ (10 ページの
問 32 へ) |
| 6 ヘルペス | |

【問 29～問 30 は、問 28 で「1～10」と答えた性感染症の診断を受けた方にお聞きします。】

問 29 診断の結果、(覚えている範囲で) 治療が完了した性感染症を、次の中からいくつでも選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1 エイズ (HIV) | 7 尖圭 ^{せんけい} コンジローマ |
| 2 クラミジア | 8 トリコモナス |
| 3 梅毒 ^{ばいどく} | 9 B型肝炎 ^{かんえん} |
| 4 淋病 ^{りんびょう} | 10 その他 (具体的に) |
| 5 ケジラミ | 11 治療が完了したものはない |
| 6 ヘルペス | |

問 30 性感染症にかかったことを性交の相手に話しましたか。複数回ある場合は一番最近の例でお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|-------|----------|-------------------|
| 1 話した | 2 話さなかった | 3 覚えていない |
| | | → (10 ページの問 32 へ) |

【問 30SQ は、問 30 で「1 話した」と答えた方にお聞きします。】

問 30SQ その時、性交の相手は検査 (治療) されましたか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1 検査 (治療) した | 2 検査 (治療) しない | 3 わからない |
|--------------|---------------|---------|

【問 31 は、問 25 で「2 受けたことがない」と答えた方にお聞きします。】

問 31 あなたが検査を受けたことがない理由を、次の中からいくつでも選んでお答えください。
(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|
| 1 自覚症状がないから | 10 検査機関 (医療機関) に知り合いが
いるかもしれないから |
| 2 性感染症は自然に治ると思うから | 11 検査結果を知ることがこわいから |
| 3 特定の相手以外とのセックス (性交渉) はしな
いから | 12 特に理由はないが、自分は性感染
症にならないと思うから |
| 4 いつも予防 (コンドームの使用) しているから | 13 セックス (性交渉) の経験がないから |
| 5 パートナー (性交渉の相手) に症状がないから | 14 その他 (具体的に) |
| 6 学校や仕事等で検査に行く時間がないから | |
| 7 検査機関への交通アクセスが悪いから | |
| 8 費用がかかるから | |
| 9 どこで検査を受けてよいのかわからないから | |

【全員にお聞きします】

問 32 エイズ (HIV) を含む性感染症について、正しいと思われるものすべてを選んでお答えください。(○はいくつでも)

- 1 最近、日本の若者の間で性感染症患者が増えている
- 2 エイズ (HIV) 感染者が使用した食器を使うとエイズ (HIV) に感染する可能性がある
- 3 性感染症にかかっているとエイズ (HIV) に感染しやすい
- 4 口を使ったセックスで口から性器に性感染症が感染する可能性がある
- 5 口を使ったセックスで性器から口に性感染症が感染する可能性がある
- 6 性感染症にかかると必ず症状がでる
- 7 性感染症を治療しないと、不妊症になることがある
- 8 コンドームを使うことは性感染症やエイズ (HIV) の予防に有効である
- 9 保健所や医療機関でエイズ (HIV) の診断を受けたときに、住所や名前が国に報告される
- 10 正しいものはない

問 33 性感染症予防について、あなたの考えに近いものすべてを選んでください。(○はいくつでも)

- 1 自分が今までにセックスした相手は誰もかかっていたかと思わない
- 2 1回のセックスではうつることはないと思う
- 3 性感染症にかかっても、薬でなおるので、たいしたことではないと思う
- 4 自分にうつることはないと思う
- 5 自分がうつっても仕方がないと思う
- 6 相手にうつしても仕方がないと思う
- 7 あてはまるものはない

問 34 あなたが仮に性感染症の疑いがあった場合、誰から言われたら性感染症の検査や治療を受けると思いますか。最も影響力がある人を選んでお答えください。(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1 恋人または配偶者 | 6 医師や看護職 |
| 2 親・兄弟姉妹 | 7 マスコミ (テレビや新聞など) |
| 3 友人・先輩 | 8 有名人・タレント |
| 4 職場の先輩・同僚 | 9 その他 (具体的に) |
| 5 学校の先生・保健室の先生 | 10 誰もいない (影響力のある人はいない) |

問 35 あなたは学校教育で性感染症の予防方法について聞いたことがありますか。(○は1つ)

- | | | |
|------|------|----------|
| 1 ある | 2 ない | 3 覚えていない |
|------|------|----------|

問 36 あなたが仮に性感染症に感染したとしたら、どう感じると思いますか。次の中からいくつでも選んでお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 いつ、誰から感染したのか気にかかる | 6 予防すればよかったと思う |
| 2 治るのか心配になる | 7 パートナーにどう伝えたらよいかと思う |
| 3 受診 (治療) するのがこわい | 8 その他 (具体的に) |
| 4 治療費用が心配になる | 9 この中にはない |
| 5 治療すれば治るので特に心配は感じない | |

問 37 あなたは性感染症が予防できることを知っていますか。(○は1つ)

1 知っている	2 知らない → (問 38 へ)
---------	-------------------

【問 37SQ は、問 38 で「1 知っている」と答えた方にお聞きします。】

問 37SQ あなたの知っている性感染症の予防方法をすべて選んでください。(○はいくつでも)

1 コンドームを使う	3 ピルを服用する	5 くわしくは知らない
2 膣外射精(外出し)	4 その他(具体的に)

問 38 どうすればコンドームの利用が増えると思いますか。(○は1つ)

1 値段を安くする	2 いろいろな場所で入手できるようにする	3 使いやすい商品を開発する	4 コンドームの有効性(性感染症の予防効果など)を周知する	5 その他(具体的に)
-----------	----------------------	----------------	-------------------------------	------------	---

問 39 性感染症の検査を受けることについて、あなたはどのように感じますか。a～oのそれぞれについて、あなたのお気持ちにもっともあてはまるものをお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

	思 と も	や や 思 う	思 あ ま り な い	思 ま つ た く い く
a 検査結果を知ることがこわい	1	2	3	4
b 性行動が活発な人だと思われてしまう	1	2	3	4
c パートナー(恋人・配偶者など)に知られたくない	1	2	3	4
d パートナー以外の家族(親など)に知られたくない	1	2	3	4
e 検査費用が心配	1	2	3	4
f どこで受けてよいのかわからない	1	2	3	4
g 面倒くさい	1	2	3	4
h 検査機関や医療機関へ出向くことができない	1	2	3	4
i 今までに受診したことがない診療科(婦人科・泌尿器科)に行くことがこわい	1	2	3	4
j どのような検査をされるのか不安	1	2	3	4
k 異性の医師・スタッフに診られることに抵抗がある	1	2	3	4
l うしろめたい	1	2	3	4
m 恥ずかしい	1	2	3	4
n 自己の健康管理のため定期的に受けたい	1	2	3	4
o パートナーのために検査を受けたい	1	2	3	4

ご協力いただき、ありがとうございました。

7. 性感染症の早期受診・治療につながる介入についての文献的検討

性感染症の早期受診・治療につながる介入についての文献的検討

聖路加看護大学 堀 成美

【研究要旨】

性感染症の対策を計画立案する際の根拠となるエビデンスについては、知識・態度に関する調査や症例報告は多数あるが、2次予防として重要な、早期診断・治療、および性的接触者への検査勧奨・治療、再感染予防について検討し、有効な介入方法について比較群を置いて検証した先行研究や保健医療従事者が活用できる指針が不足している。

英語で報告されている調査研究の多くは欧米のものであり、文化的な背景からその応用の限界はあるものの、調査研究の手法や問題解決に向けたフォーカスやアプローチ、プロセスの検証は、今後本邦において実施すべき実態調査、介入研究、費用対効果検証について参考となるものも複数存在した。

本邦における性感染症の予防および早期診断のための施策として、検査や治療を提供する医療機関および保健所等において、次の項目における実態を把握し、促進因子と阻害因子を明確にする必要がある。

- 1) 個人の受診行動
- 2) 一般啓発や受診促進活動
- 3) 医療者によるパートナー検査
- 4) 無症候群へのスクリーニング検査

促進因子、阻害因子について強化／軽減できるような介入研究を行い、自治体等における取り組み予算の根拠につなげ、また、保健医療従事者の実践およびサービスの標準化のためのガイドラインや指針の開発、広報・教育資材の開発と普及が重要と考えられた。

費用対効果や優先順位の妥当性を検討するためには、精度の高いサーベイランスシステムが必要であり、現行の定点および全数報告システムのみならず、評価目的に適した疫学調査を計画的に実施することが必要であると考えられた。

性感染症予防指針に新たに位置づけられた1次予防としてのワクチン、咽頭感染リスクについての啓発や介入についても、今後国内における知見を広く共有して行く必要がある。

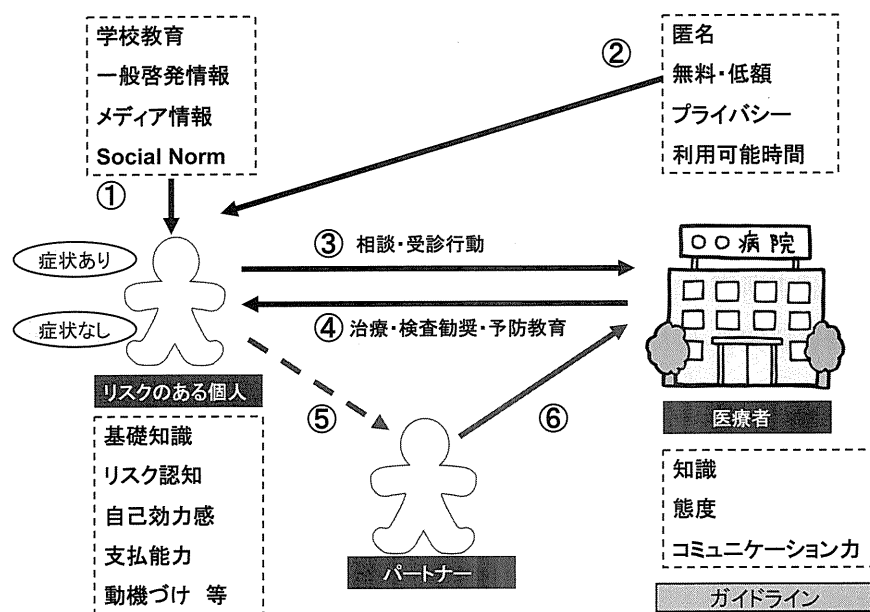
A.研究目的

本邦の性感染症の予防、早期診断の根拠となるエビデンスを検討し、実態調査および介入研究デザインの際の参考情報を整理する。

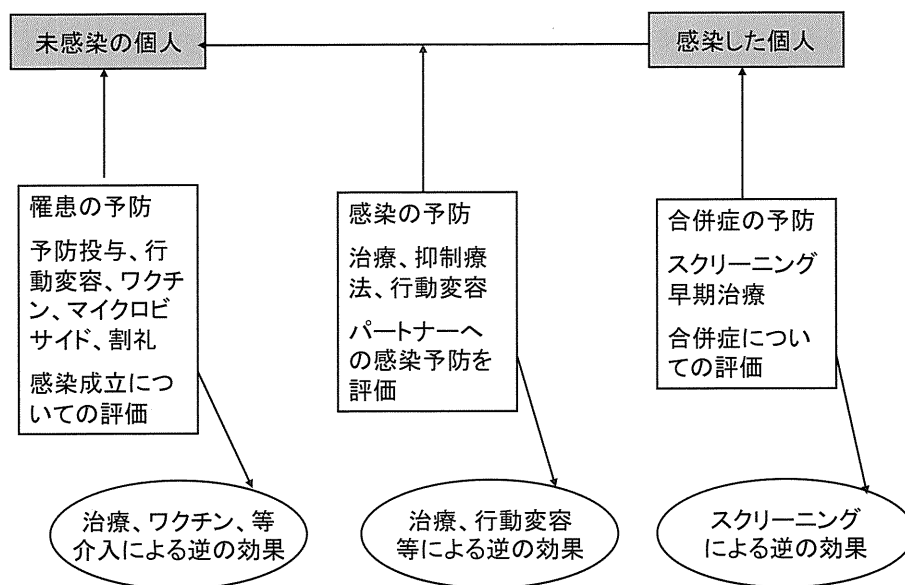
B.研究方法

日本語および英語文献に限定したデータベースによる検索を行った。人や個人情報二関わる情報は扱っておらず、倫理的な問題は生じていない。

文献検討における課題の整理に活用した性感染症診療のモデル図



性感染症の予防および早期診断のための概念図 (Manhart による、後掲)



Manhart(2005)による性感染症予防介入 個人アウトカム評価のフレームワーク

C.結果およびD.考察

1. 全体像
2. 性行為と健康リスク回避・問題対処行動の理論的枠組み
3. 国内における性感染症と受診行動に関連する研究
 - 1) 医学中央雑誌データベース検索
 - 2) 「厚生労働科学研究データベース」検索
 - 3) 文部科学省 科学研究費補助金データベース検索
4. 海外における性感染症と受診行動に関する文献
 - 1) 性感染症に対する介入の Systematic Review
 - 2) リスク軽減のための行動変容に注目したレビュー文献
 - 3) 受診を阻害する因子についての文献
5. 性的パートナーへの検査勧奨、患者経由でのパートナーの治療
 - 1) 性的接触者／パートナーへの性感染症検査の勧奨
 - 2) 日本における性的接触者／パートナーへの告知および検査勧奨
 - 3) 性的接触者／パートナーへの告知および検査勧奨の英語文献
 - 4) 患者経由でのパートナーの治療による再感染予防
6. 性感染症検査のスクリーニングとガイドライン
 - 1) 性感染症ガイドライン
 - 2) クラミジア・スクリーニングプログラムの評価
 - 3) HIV のルチン検査プログラム
7. ワクチンで予防可能な性感染症に関する文献

8.Oral Sex による咽頭感染に関する文献

1. 全体像

性感染症は性交開始後のすべての人に生じるリスクであり、感染症の放置は重篤化や不妊などの合併症につながる可能性がある。また、無症候群も多いため、診断・治療の最適時期を逸したり、意図せずパートナーへ感染拡大していくことがある。このため、個人がリスクを認知し、早期受診およびパートナーを含めた治療にアクセスすることが重要である。しかし、「知識や情報の不足」、「症状を自覚しにくい」、「相談しにくい」、「受診しづらい」、「相手に伝えにくい」といった阻害因子が存在する。

国内における性感染症と予防に関する先行研究としては、サンプル数の限定された知識・態度調査が多く、リスク発生後の対処行動としての受診・受療行動について明らかにする調査研究や介入研究が少ないのが実情である。

本稿では、性感染症の受診（早期検査・治療）に有効と考えられる施策立案につなげるための基礎情報として、性感染症に関連する受診行動について国内外の文献検討し、国内の基礎調査につながると考えられる事項の整理を行った。

- 1) 個人の受診行動
- 2) 一般啓発や受診促進活動
- 3) 医療者によるパートナー検査
- 4) 無症候群へのスクリーニング検査

2. 性行為と健康リスク回避・問題対処行動の理論的枠組み

個人が感染リスクを避け、より安全な行動を選択する/しない要因や、介入の際の仮

説となる促進因子や阻害因子を説明するモデルは行動科学の領域において検討されてきた。

1) 知識や情報を重視する心理－教育アプローチ、

2) 個人の意思決定プロセスを重視する認知理論 (The Health Belief Model、Theory of Reasoned Action、Theory of Planned Behavior、Decision-Making Theory、Theories Based on the Principles of Learning)、

3) 学習理論にもとづく行動モデル (Operant Learning Theory、Social Learning and Self-Efficacy Theory)、

4) 動機および感情喚起理論 (The Fear-Drive and the Dual Process Models、Protection Motivation Theory)、

5) 社会影響理論 (Social Marketing、Diffusion of Innovation Theory)、

6) 行動変容の段階的変容モデル Transtheoretical Model (Stages of Change)、

さらに複数の理論を統合した Information, Motivation, Behavior (IMB) Model といった統合モデルが提案されてきた。

性感染症のリスク回避につなげるための介入の効果を評価する際の行動指標として、「初交の延期」、「初回性交時/直近の性交時における感染予防行動」、「コンドーム使用率・継続率の向上」、「パートナー数の抑制」がある。つまり、1次予防における教育や啓発が、性交時における個人として選択可能な行動へつながっているかを評価するものである。

次の段階として必要なのは、2次予防における行動の評価である。早期診断・治療のためには、先に検査にアクセスする必要がある。

一般に、「症状がある場合」は受診につながりやすいことについては先行研究等でも指摘されている。このため、まず調査研究の枠組みとして、この有症状者における受診阻害因子は何かという検討が、質問紙や個人またはグループでの面接調査で検討されている。別の枠組みとしては、「症状が全くない場合」において、どのようなきっかけで検査の必要性を考え、自らの時間と費用を負担して性感染症の検査にアクセスするのかの検討がある。まず、学校教育や一般啓発で得られる情報と、自らのリスク検討、受診による期待効果が必要であり、性感染症診療独特の阻害因子を上回る促進因子が必要と考えられる。

本邦における実態調査においては、下記の項目を定性的・定量的に検討する必要がある。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1) 症状を自覚しての受診 (検査)2) 症状を自覚しない時点での、自発的な受診 (検査)3) 症状を自覚しない時点での、専門家の勧奨による検査4) 症状を自覚しない時点での、パートナーの勧奨による受診 (検査)5) 症状を自覚しない時点での、教育・啓発情報に喚起された受診 (検査) |
|--|

3. 国内における性感染症と受診行動に関連する研究

1) 医学中央雑誌のデータベース検索

「性感染症」「受診行動」をキーワードに、1983年～2011年までの日本語の原著論文の検索を医学中央雑誌のサーチエンジンで行ったところ27件が抽出された(1989年～2010年)。このうち15件はHIV検査の受診行動に関連したものであった。

性感染症に関する知識や意識の原著論文は329件と多いが、日本人がどのような背景や要因で性感染症を動機とした受診行動をとっているかは詳細に検討した報告は十分とはいえない状況である。

「性感染症」「受診行動」をキーワードとした論文が検討していたテーマは以下の通りであった。

HIV検査の受診行動
HIV感染症患者の受診行動
性器ヘルペス患者の受療行動
女子学生・女子看護学生の問題対処行動としての受診行動
産婦人科外来受診患者の受診状況

2) 「厚生労働科学研究データベース」検索

性感染症および受診に関する研究成果の検索を行ったところ、下記の内容が抽出された。これらは基本的にPDFでデータベース化され、公開されている。

年度	研究課題	研究代表者
平成21年～平成22年	性感染症に関する予防、治療の体系化に関する研究	小野寺昭一
平成19年～平成	性感染症に関する特定感染症予防指針の推進に関する研究	小野寺昭一

平成15年～平成17年	性感染症の効果的な蔓延防止に関する研究	小野寺昭一
平成16年～平成17年	効果的な感染症発生动向調査のための国及び県の発生动向調査の方法論の開発に関する研究	谷口清州
平成14年	効果的な感染症発生动向調査のための国および県の発生动向調査の方法論の開発に関する研究	岡部信彦
平成13年	性感染症の効果的な発生动向調査に関する研究(総括研究報告書)	熊本悦明
平成12年	性感染症の効果的な発生动向調査に関する研究(総括報告書)	熊本悦明
平成11年	本邦における性感染症に関するセンチナル・サーベイランス施行の基礎的検討	熊本悦明
平成9年	本邦における性感染症に関するセンチナル・サーベイランス施行の基礎的検討	熊本悦明

これらのうち、性感染症クリニックの受診者の属性だけでなく、リスク行為について検討した研究と、グループフォーカス面接により受診の際の阻害因子を検討した研究があったので例示する。

STDクリニック受診者の性行動に関する研究 大里和久ら 1998年 http://www.acc.go.jp/kenkyu/ekigaku/98ekigaku/eki_24/eki_24.htm

STDクリニック受診男性の性行動を聞き